

クモノスシダ

Asplenium ruprechtii Kurata

チャセンシダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が稀で個体数が少ない。(現況:R-)

形態

葉は単葉で革質、全縁で短く立った根茎から葉を四方に広げるか、あるいは斜上して群がって生える。基部はくさび形で広いが先はしだいに細くなり、蔓状にのびたさきに新しい芽をつける。葉柄下部には暗褐色の鱗片が密生する。

国内分布

北海道、本州、四国、九州、対馬など。

県内分布

口能登、加賀中央区、南加賀区。

生態など

常緑性の着生植物である。耐石灰岩性で乾燥にも強い。好陰湿潤性があり、繁殖は孢子と無性芽による。孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。

生育環境

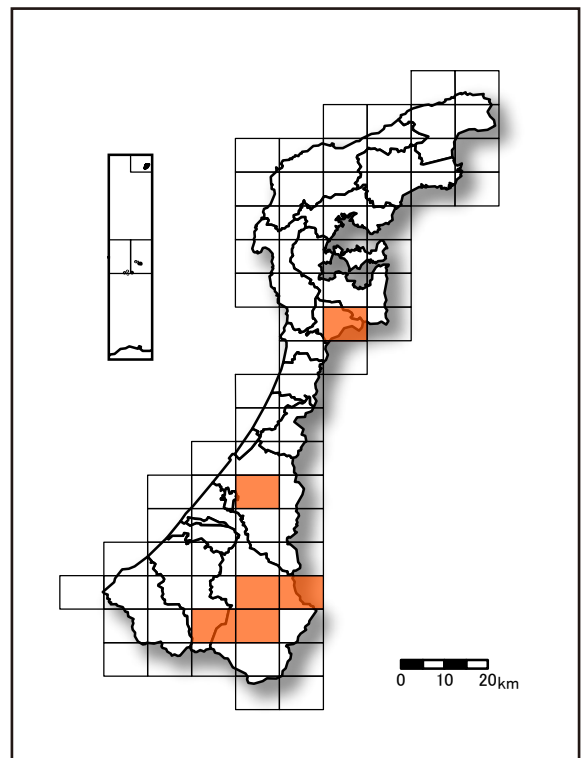
温帯から暖帯にかけて、石灰質の露岩上に着生する。

危険要因

河川開発、道路建設、ダム建設、園芸採取、自然遷移、その他(露岩崩壊)。



白井伸和・2001年9月16日・白山麓



県内の分布